

環境にやさしい新庁舎へ
県内公共施設初

ZEB認証を取得しました

脱炭素社会に向けて

政府は、2030年度までの今後10年間の目標として、2013年度と比べCO₂排出量の46%削減を掲げました。この目標を達成するため、公共施設や民間の建築物に対し、再生可能エネルギーの活用や省エネ対策を推奨しています。

本町でもその実現に向けて、昨年「ゼロカーボンシティ宣言」を行ったところです。こうしたことから、新庁舎建設においても環境にやさしい機能を多数採用し、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいきます。

機関により評価する認証制度です。

新庁舎建設では、建物の高断熱化や、効率の良い照明機器、空調設備の採用、地中熱を利用した空調システムの活用により、従来の建物に比べ、消費エネルギーを56%削減し、太陽光発電により8%のエネルギーを創ることで、合計64%の消費エネルギー削減を達成しました。これ

により、ZEB Ready（ゼブレディ）として認証を取得しました。庁舎などの公共施設では、県内初の取得になります。

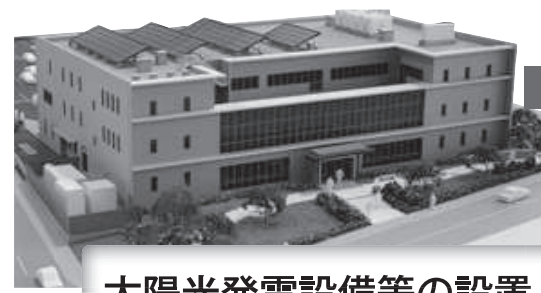
新庁舎完成後は、運用により更なる一次エネルギーの削減に取り組むとともに、将来にわたって庁舎の維持管理費の削減に努めていきます。

BELS
BELSとは、設計段階においてBELS(建築物省エネルギー性能表示制度)の最高ランク5つ星の評価を受けました。BELSは、国土交通省が定めるガイドラインに示された、建築物の省エネルギー性能を第三者



(BELS認定証 ゼブレディが表示されます)

新庁舎に取り入れる様々な技術



創エネ

太陽光発電設備等の設置

- ・太陽光発電パネル (42.7kwh) ・蓄電池設備 (33.7kwh)

省エネ

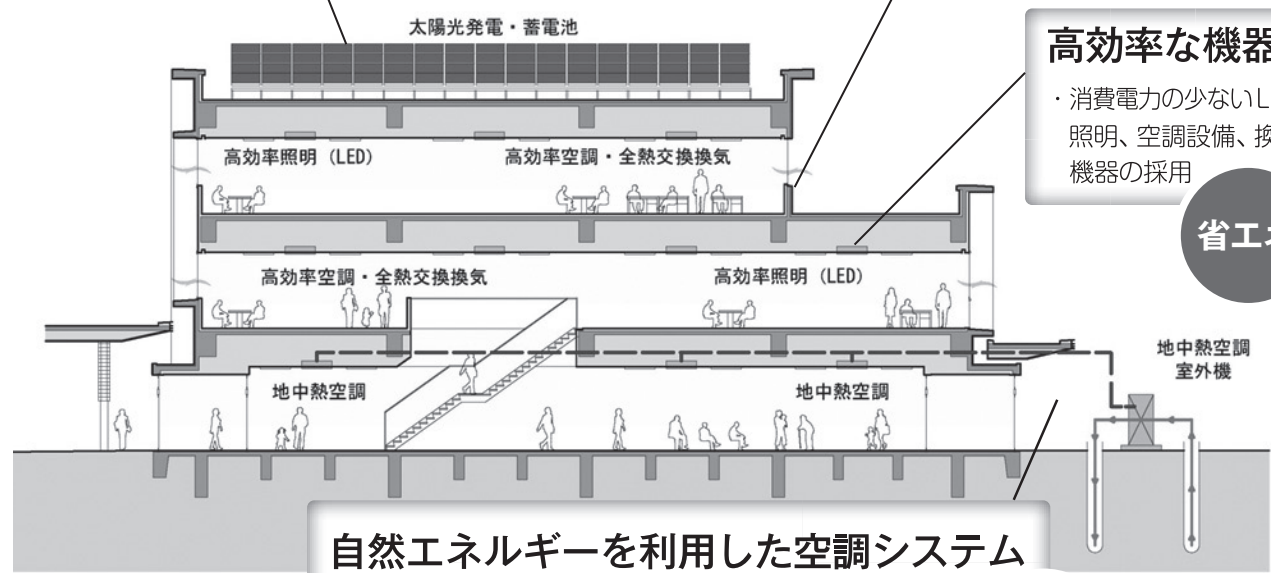
建物の高断熱化

- ・外断熱、屋根断熱、床断熱の採用
- ・遮熱性の高いLow-e ガラスを用いた複層ガラスによる断熱

高効率な機器

- ・消費電力の少ないLED照明、空調設備、換気機器の採用

省エネ

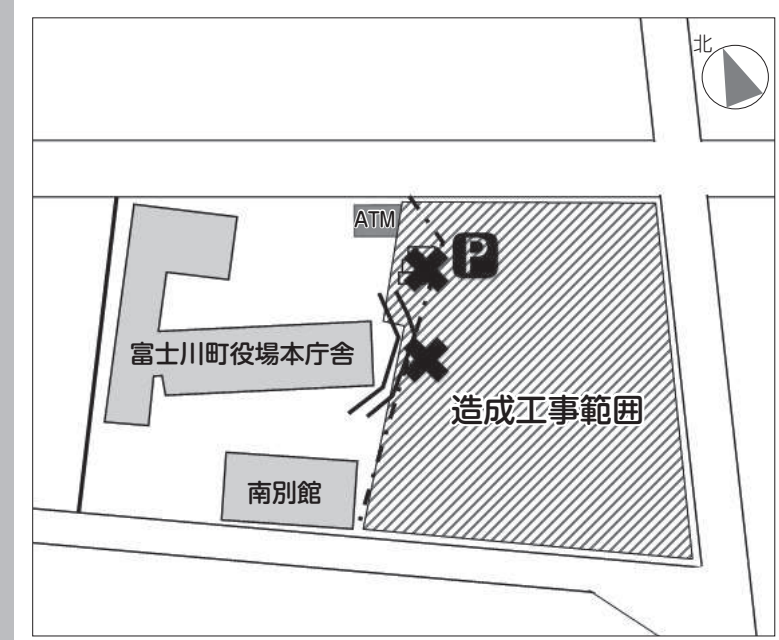


自然エネルギーを利用した空調システム

- ・地中熱空調システム
- ・空調負荷を低減する換気設備

省エネ

令和3年6月末～ 造成工事が始まります



町では、6月末から新庁舎建設のための造成工事に着手します。工事にあたり、車両通行などに対する安全について、十分注意します。

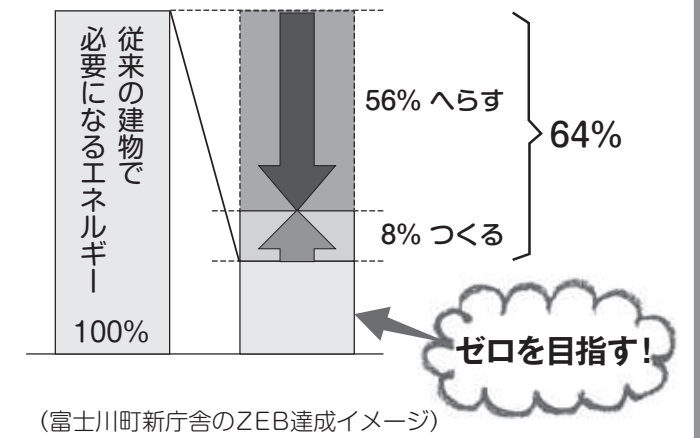
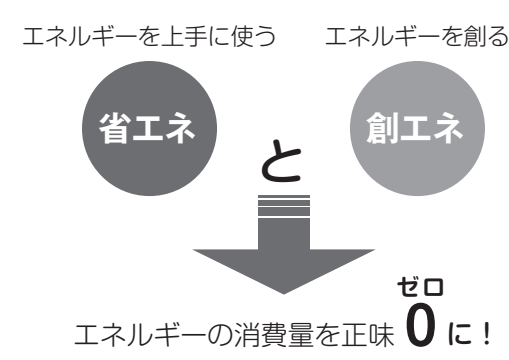
新庁舎の建設工事については、現在、業者選定のための入札準備を行っています。業者決定後は、令和5年の工事完了を目指し事業を進めていきます。

町民の皆さまには、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【注意】
・ATM南東側の駐車場3台分は利用できません。
・本庁舎東側脇の通路は通行できません。

ZEBって?

「ZEB (ゼブ)」とは、Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称で、快適な室内環境を保ちながら高効率設備等により省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーをつくることで、同規模の建物と比べ、一次エネルギー (石油や天然ガス、石炭などの自然界から得られるエネルギー) の年間消費量を大幅に削減する建物のことです。



●お問い合わせ 管財課 施設整備担当 ☎22-7206